



楽しい夏休みを過ごせましたか？進路に向けて、いろいろ考えたり、準備したりして、いつもの夏休みとはちょっと違ったかもしれませんね。この夏、日本では、熊本の地震と千葉の豪雨、大きな災害が二つもありました。台風はある程度、予測ができますが、地震と豪雨はいつ起こるかわからないので、備えが必要です。しっかり備えている人も、この機会に、見直してみてください。



もしものために・・・

⚠ 家族防災会議をしておこう ⚠

避難場所は？

避難場所と道順を確認しておきましょう。

- ▶ 一時避難場所
- ▶ 広域避難場所

避難途中で危険な場所は？

安全そうな道を選ぶ。

- ▶ 浸水時（河川近く）
- ▶ ブロック塀など

家族が離れ離れになった時

どこで落ち合いますか？

- ▶ 落ち合う場所

安否確認をどうやって行いますか？

他府県の親戚や友人、紙に書いた連絡先も重要かも。

- ▶ 携帯が使えない時
- ▶ 災害用掲示板

家の中でも安全な場所は？



これ以外にも避難する時の出口の確保（最低2方向）、家の中の危険防止対策、情報入手の方法、飲み水や生活用水、トイレ、保存食、ペットのことなど、事前に考えておかないといけないことはたくさんあります。そして、四季のある日本では、季節のことも念頭におかなければなりません。

「備えあれば憂いなし」



校長 奥田 美菜子

この夏休み期間には、熊本県での大地震や千葉県での水害、さらには生野区でもゲリラ豪雨によりマンホールから水が噴き出すなど、自然の大きな力を改めて感じる出来事がありました。みなさんも、「このごろは予想もできなかったような事が次々と起こっているな」と感じていることでしょう。自然と共に生きている私たちにとって、「備え」は日常の一部になっています。そのため、一人ひとりが「備える」ということがとても重要です。「もしも〇〇になったら……」、「もしも〇〇がなくなったら、使えなくなったら……」このような「もしも…」を思い浮かべながら、日頃の生活の中で防災や備えに取り組んでください。一人ひとりが行う日頃の備えは、自分自身を守るだけでなく、大切な誰かを助ける力にもつながります。また、いざという時に落ち着いて対応することができるはず！「事前の備えに憂いあり」です！ぜひ今日から、「もしも…」を考え取り組んでみてください。